

2026 香川県ジュニアサッカーリーグ

大会要項

- (1) 趣 旨 この大会は少年少女たちがサッカーへの興味・関心を持ち、さらに技術の向上を図りながら身体を鍛え、フェアプレーの精神を培い、正しく力強く生きる人間づくりを目指すものである。
- (2) 名 称 2026 香川県ジュニアサッカーリーグ
- (3) 主 催 (公財) 日本サッカー協会・(一社) 香川県サッカー協会
- (4) 主 管 (一社) 香川県サッカー協会 第4種委員会
- (5) 後 援 香川県教育委員会, 香川県スポーツ少年団, RNC西日本放送, 四国新聞社
- (6) 参加資格 <チーム>
- ① 2026年度(公財)日本サッカー協会の登録を完了した香川県内の小学生を主体としたチームであること。
 - ② 引率責任者が引率したチームであること。
 - ③ 帯同審判員(有資格者)がいること。
 - ③ 定められた期日までに所定の手続きが完了していること。
 - ④ 8月29日(土)実施予定の4種指導者講習会にチームとして1名以上の参加ができること。
 - ⑤ 同一チームから複数チームの参加を認める。但し、その場合のチーム名は本来の所属チーム名+アルファベット一文字とする。
(例) 略称: 高松FC(A)、高松FC(B)、・・・・・・等
- <選 手>
- ① 2026年度(公財)日本サッカー協会に選手登録が完了していること。
 - ② 選手はスポーツ安全保険に加入していなければならない。
 - ③ 選手は(公財)日本サッカー協会発行の選手証を持参しなければならない。但し、写真データ貼付けにより、顔の認識ができるものであること。
 - ④ 前期リーグ期間内もしくは後期リーグ期間内において選手の出場できるチームは1チームに限定する。また年間を通じての所属上限チーム数を2チームとする。
 - ⑤ 移籍期間を年間を通じて2回設定し、それ以外の期間の移籍を認めない。
【1回目】2026.8.1から2026.8.7
【2回目】2026.12.22から2026.12.31
上記1回目の移籍期間に手続きが完了していれば後期リーグから試合出場できるが、選手証を携帯していることが前提条件となる。但し、県外チームからの引越しを伴う移籍についてはこの限りではない。
 - ⑥ 新規選手登録については年間を通じて登録できるが、試合出場については選手証を携帯していることが前提条件となる。
- <指導者>
- ① **ベンチ入り指導者は全員有資格者(D級以上)であること。また、必ず写真貼付のライセンス証を携帯のこと。**
- (7) 大会参加費 12,000円/1チーム(前期:6,000円 後期:6,000円)とする。
- (8) 大会形式
- ① 前期・後期リーグ制。各期は1回戦総当りで行う。
 - ② 前期リーグU-12は全県の1ステージにて実施する。
前期リーグU-11及びU-10については、
ア. 高松・東讃地区、中・西讃地区の2ステージを設ける。
イ. 参加チームの属性区分は、チーム登録所在地の市町をもって決定する。

ウ. 高松・東讃地区は高松市以東市町、中・西讃地区それ以外の市町とする。

③ 後期リーグは全カテゴリー全県の1ステージにて実施する。

(9) リーグ部制

① U12・U11・U10の3部制とする。

② 【U12の部】 常時6年生以下のチームであること。

③ 【U11の部】 常時5年生以下のチームであること。

④ 【U10の部】 常時4年生以下のチームであること。

各部とも、女子選手の扱いは男子選手と同様とする。

(10) 構成

各部のブロック、カテゴリー、及び参加チーム数は以下の通り。

① 「前期リーグ」

【U-12の部】 1部リーグ：1ブロック10チーム

2部リーグ：2ブロック20チーム

3部リーグ：各ブロック10チームが基本

【U-11の部・U-10の部】

・高松・東讃地区ステージ 各ブロック8チーム以上が基本

・中讃・西讃地区ステージ 各ブロック8チーム以上が基本

② 「後期リーグ」

【U-12の部】 1部リーグ：1ブロック10チーム

2部リーグ：2ブロック20チーム

3部リーグ：各ブロック10チームが基本

【U-11の部・U-10の部】

1部リーグ：1ブロック 8チーム

2部リーグ：2ブロック16チーム

3部リーグ：各ブロック 8チームが基本

(11) 大会日程

(前期) 2026年 4月 4日～2026年 7月 26日

但し、U12・U10の部は日曜日実施、U11の部は土曜日実施を原則とする。

(後期) 2026年 9月 5日～2027年 1月24日

(12) 日程の変更

① 本委員会は自然災害などの不可抗力で試合日程前に試合中止が余儀なくされた時は、直ちに該当チームに連絡し別途日程にて実施可能な場合のみ、中止された試合を行う。

② 試合中落雷など自然災害の発生時においては、主審の判断により試合を中止することができる。中止された試合については再試合を原則とするが、別途定めるところにより「打ち切り試合」とすることがある。

③ 万一やむを得ぬ事情にて日程の変更が必要な場合は本委員会及びリーグ戦運営委員会にて協議の上、決定する。

(13) 順位の決定

① 勝ち点は、勝者3点、引き分け1点、敗者0点とする。

② 勝ち点と同じであれば得失点差の多いチームを上位とする。

③ 得失点差が同じ場合は総得点の多いチームを上位とする。

④ 総得点が同じの場合は対戦試合の勝者を上位とする。

⑤ ①～④にて決定しない場合は、大会実施委員会役員立会いのもと、抽選により決定する。

⑥ 試合不出場、棄権したチームは不戦負けとし、0対5で処理する。

(14) 競技規則

日本サッカー協会当年度8人制サッカー競技規則によるが、細則については大会実施委員会決定の内容によるものとする。

① 使用ボール 4号ボール

② 競技者の数 各部とも 8人

(試合成立人数は6名とする。試合開始前、開始後に6名未満になった場合は不戦負けとし、0対5で処理する。)

③ 試合時間 U 1 2 の部 4 0 分 (2 0 分-5-2 0 分)

U 1 1 ・ U 1 0 の部 3 0 分 (1 5 分-5-1 5 分)

④ 交代選手は登録選手内とし、交代は自由な交代を適用する。退場処分を受けた選手は、大会期間中の次の公式戦 1 試合は出場できない。以降の出場については、大会規律委員会で決定する。

⑤ 警告の累積を行う。本大会で 2 回警告を受けた選手は次の 1 試合の出場を停止する。但し、前期で受けた警告数はその期で終わる。

⑦ ピッチサイズは 6 8 m × 5 0 m 小ゴール
(会場によりサイズがとれない場合は上記に近いものとする)

(15) 細 則

① 各部のリーグ戦の審判は、チーム割り当てで行う。(割り当てチームは主審一人制)にて実施のこと。ただしチーム事情により 3 人審判制にて実施してもかまわない。)

また、各部とも審判は必ず写真添付の審判証を携帯のこと。

② 背番号については、重複しなければかまわない。

③ ユニフォームは正副を用意し、審判より指摘のあった場合は両チーム協議の上決定する。
(ただし、U 1 0 の部についてはビブスの着用も可とする。)

④ 会場準備は、各会場第 1 試合の両チームにて試合開始 30 分前までに準備すること。

⑤ 試合会場当番を割り当てて、記録、会場運営、掃除等の補助をお願いする。

⑥ 会場の駐車は、決められた場所を厳守するとともに、会場内のゴミ等は各チーム責任を持って処分すること

⑦ 事故・ケガについては主催者は一切の責任を負わない。(各チームの責任において適切な処置を行う。)

⑧ 本大会は、(公財)日本サッカー協会が定める懲罰規程に基づき本大会に係る懲罰問題を処理するため、大会規律委員会を設置する。

(16) その他

① 「前期リーグ前期」の成績により、「後期リーグ」の定めたカテゴリーに進む。

ア. 「前期リーグ」の成績により U-12 の部は戦績上位 1 0 チームが、U-11 ・ U-10 の部は戦績上位 8 チームが後期カテゴリー「1 部リーグ」に進む。「1 部リーグ」に進むチームについては所定の基準で本委員会が決定する。

イ. 「1 部リーグ」進出チーム以外で、U-12 の部は戦績上位 2 0 チームが、U-11 ・ U-10 の部は戦績上位 1 6 チームが後期カテゴリー「2 部リーグ」に進む。

「2 部リーグ」に進むチームについては所定の基準で本委員会が決定する。

ウ. 上記以外のチームについては「3 部リーグ」に進む。

② U 1 2 の部については「前期リーグ」の成績により、『2026 J F A 全日本 U-12 サッカー選手権大会香川県大会』のシード権を与えるが、詳細については所定の基準で本委員会が決定する。

③ U 1 2 ・ U 1 1 の部については「後期リーグ」の成績により、2026 年度『香川県ジュニアチャンピオンシップ』への出場権を与えるが、詳細については所定の基準で本委員会が決定する。

④ 上記要項に該当しない事態が生じた場合は、本委員会で協議し、都度決定する。

以上